

2019 年度 国際社会学部 2 年生 コース・ゼミ選択手続き

1. コースとゼミ選択のスケジュール

4 月 11 日 (木)	2 年生対象 説明会 11:50-12:30 @101
4 月 22 日～25 日 (4 日間)	意向調査 (学務情報システム)
4 月 23 日 (火)	地域社会研究コース説明会 11:50-12:30 @227
24 日 (水)	現代世界論コース説明会 11:50-12:30 @227
25 日 (木)	国際関係コース説明会 11:50-12:30 @227
4 月 26 日 (金) 夕方 5 月中	意向調査結果発表 ゼミガイダンス、相談期間 (ガイダンスの日程表はコース説明会で配布)
6 月 3 日～6 日 (4 日間)	第一次ゼミ希望届回答 (学務情報システム)
6 月 10 日 (月)	各ゼミ希望者数の発表
6 月 17 日 (月)	第一次ゼミ決定発表/二次募集を行うゼミの発表
6/17-26	第二次回答ゼミ相談期間 (二次でゼミの希望を出す学生の相談期間)
6 月 24 日～27 日 (4 日間)	第二次ゼミ希望届回答 (学務情報システム)
7 月 8 日 (月)	第二次ゼミ決定発表

・意向調査 (4/22-25) …意向調査の回答期間内に、第一希望、第二希望のゼミを学務情報システムで回答してください。これは各ゼミの希望者数を把握するための調査です。この調査での回答でゼミは決まりません。意向調査の結果は 4 月 26 日に発表予定です。

・第一次ゼミ希望届回答 (回答期間 6/3-6)

希望するゼミ (一つ)、および志望理由 (200 字程度) を学務情報システムで回答します。

6 月 10 日 (月) に各ゼミの希望者数を発表します。

→結果発表 6 月 17 日 (月) : 二次募集を行うゼミも発表

・第二次ゼミ希望届回答 (回答期間 6/24-27)

第一次募集でゼミが決まらなかった学生のみ回答。(第一次で決定している場合は回答しても無効になります)

第一希望、第二希望のゼミ、および志望理由を学務情報システムで回答します。

→結果発表 7 月 8 日 (月)

※二次募集の第一、第二希望は、異なるコースのゼミで回答できます。

※二次募集を行うのは、第一次で決定したゼミ生が 9 名以下のゼミのみです。一次で 10 名以上のゼミ生が決定したゼミは二次募集をしません。

※二次募集でもゼミが決まらなかった学生には三次募集を実施します。10 月初旬に教務課に届け出を提出することになります。手続きは 7 月に掲示します。

〔選抜について〕

- ・各ゼミの定員は10名前後として、上限は12名です（3年次編入生、転学部生は外数として扱います）。
- ・選抜の方法はゼミによって異なります。ゼミガイダンスで、レポート等の選抜の課題の説明がある場合もあるので、希望するゼミのガイダンスには必ず出席してください。出席できない場合は教員に個別に連絡をとって、相談をしてください。

〔秋学期の選択科目の履修について〕

- ・2年次秋学期から選択科目の履修ができます（2015年度入学者までは3年次から）。決定したゼミの指導教員の担当する授業や、関連の深い授業を履修するようにして下さい。

〔ゼミ案内〕

- ・大学HP→在学生の方へ→ゼミ案内 でゼミ案内がウェブ公開されています。

2. コース・ゼミが決定した後の変更について

〈2年次〉

決定したコース・ゼミの変更を希望する場合は、12月上旬にゼミ変更相談願を所定の用紙で教務課に届け出てください。定員・研究テーマの観点からの審査を経て認められた場合はゼミの変更ができます。

〈3年次以降〉

各学期の履修登録期間までに、変更に必要な書類を用意して教務課に提出してください（詳細は『履修案内』）。

3. 注意事項

1. ゼミが決まると同時にコースも決定します。概論科目、選択科目は所属するコースによって履修する授業が変わるので、コースも意識してゼミを検討してください。
2. 進級要件を満たせず3年次に進級できなかった場合はいったん決定したコース・ゼミともに無効になります。
3. 2020年度に3年次に進級できないことが確定している学生は、今年度はゼミの希望は回答しないで下さい。
4. 各届け出期間に回答をしなかった場合は、いかなる理由でも追加の受付はしません。学務情報システムにログインできるかなど事前に確認しておくこと。

個別に連絡をする際は、各自の大学のメールアドレス（…@tufs.ac.jp）に連絡をします。各種連絡は学務情報システムと、掲示（教務課前の国際社会学部の掲示板）で通知をします。

【進級要件について・要注意】 2年次が終わるまでに以下の進級要件を満たすことが必要です。

地域言語 A 15 単位（※単位数が異なる地域があります。詳細は『履修案内』で確認して下さい）、

地域基礎 6 単位

世界教養科目 8 単位

基礎リテラシー 1 単位

基礎演習 2 単位

導入科目 8 単位 導入科目は進級が決定したコースの授業を2単位以上含む必要があります。

※これは2016年度以降入学者の進級要件です。2015年度以前の入学者は入学年の『履修案内』で確認すること。

国際社会学部 2020年度ゼミ担当予定教員名一覧 (2019年4月現在)

■地域社会研究コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
青木 雅浩	モンゴル地域研究、モンゴル近現代史	826	masamon@tufs.ac.jp
青山 弘之	現代中東(西アジア・北アフリカ)地域の政治・思想・歴史	837	aljabal@tufs.ac.jp
伊東 剛史	イギリス近代史、人と動物の関係史、感情史、 痛みの文化史	626	t.ito@tufs.ac.jp
大石 高典	生態人類学、地球環境学、中部アフリカ	506A	takanori@tufs.ac.jp
小笠原 欣幸	現代台湾政治、台湾の選挙、中台関係	858	ogasawara@tufs.ac.jp
小田原 琳	イタリア近現代史、イタリア地域社会研究、ジェンダー、 ナショナリズム ※2020年度在外研究のためゼミ生募集無し	760	rodawara@tufs.ac.jp
菊池 陽子	東南アジア近現代史、ラオス近現代史	639	kikuchiyoko@tufs.ac.jp
木村 暁	中央アジア史、中央アジア地域研究	834	s_kimura@tufs.ac.jp
久米 順子	スペイン中世美術史、西洋美術史、キリスト教文化	726	kumejun@tufs.ac.jp
倉田 明子	中国近代史(太平天国史、キリスト教史)、 中国地域史(香港・広東省、上海近辺)	853	akurata@tufs.ac.jp
坂井 真紀子	農村社会学、アフリカ地域研究、村落開発	720	sakai_makiko@tufs.ac.jp
澤田 ゆかり	中国の産業変動、労働関係、社会保障、 ジェンダー問題、地域開発	852	sawada@tufs.ac.jp
篠原 琢	チェコを中心とする中央ヨーロッパの近現代史	718	takus@tufs.ac.jp
鈴木 義一	現代ロシア経済論、ソ連経済史、比較経済体制論	704	ysuzuki@tufs.ac.jp
芹生 尚子	フランス近世史、フランスの歴史・文化・社会、軍事史、 民衆史、司法慣行の歴史	761	nseriu@tufs.ac.jp
左右田 直規	東南アジア近現代史、マレーシア政治社会史	601	soda@tufs.ac.jp
高橋 均	ラテンアメリカ地域研究	732	hitoshi.takahashi@tufs.ac.jp
巽 由樹子	ロシア近代史、出版文化史	703	tatsumi@tufs.ac.jp
千葉 敏之	ヨーロッパ中世史、キリスト教史、図像解釈、 歴史基礎学(資料体学)	649	t-chiba@tufs.ac.jp
友常 勉	日本思想史、近現代部落史、宗教と芸能	707	ttomotsune@tufs.ac.jp
丹羽 泉	宗教学、宗教社会学(朝鮮宗教論・朝鮮文化論)	860	niwa@tufs.ac.jp
福嶋 千穂	近世ポーランド・リトアニア史、ウクライナ史	717	fsch@tufs.ac.jp
ポーター ジョン	日本近現代史、都市社会史、貧困史	522	jporter@tufs.ac.jp
宮田 敏之	東南アジア経済研究、タイ地域研究、タイ社会経済研究	531	tmiyata@tufs.ac.jp
山内 由理子	文化人類学、オーストラリア先住民研究	625	yuriko.yamanouchi@tufs.ac.jp
ルシオ デ ソウザ	近代ヨーロッパアジア関係	617	sousa.lucio@tufs.ac.jp

※2019年度未退職予定(ゼミ生募集無し):佐々木 孝弘

※2020年度未退職予定(ゼミ生募集無し):今井 昭夫、小川 英文、藤井 毅

■現代世界論コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
岩崎 稔	哲学、政治思想、ヘーゲル哲学研究、戦後日本思想史、カルチュラル・スタディーズ、集合的記憶論	518	minorui@tufs.ac.jp
上原 こずえ	社会学、沖縄現代史、社会運動史	551	uehara@tufs.ac.jp
大川 正彦	政治学（政治学原論、政治哲学）、社会倫理学	546	okawa@tufs.ac.jp
小野寺 拓也	ドイツ現代社会史、ナチズム論、日常史、ジェンダー史（男性史）	647	tonodera@tufs.ac.jp
加藤 美帆	教育社会学、家族社会学、ジェンダーと教育	528	mihokato@tufs.ac.jp
金 富子	ジェンダー論・ジェンダー史、植民地期朝鮮教育史 植民地遊廓／現代の性売買研究、性暴力研究	552	hanul27@tufs.ac.jp
中山 智香子	社会思想、経済思想、グローバルスタディーズ	504	nakac@tufs.ac.jp
真島 一郎	文化人類学、社会思想史、アフリカ民族誌学、グローバルスタディーズ	503	imajima@tufs.ac.jp
吉田 ゆり子	日本近世史、日本の文化財・地域社会の歴史 ※2020年度から現代世界論コースへ	819	yoshida.yur@tufs.ac.jp
米谷 匡史	日本思想史・社会思想史、東アジア植民地研究、アジア／日本の思想・文化史 ※2020年度から現代世界論コースへ	820	yonetani@tufs.ac.jp
李 孝徳	ポストコロニアル研究、カルチュラル・スタディーズ、レイシズム・スタディーズ、表象文化論	517	hdlee@tufs.ac.jp

2019年度末退職予定（ゼミ生募集無し）：今福 龍太、栗田 博之

■国際関係コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
伊勢崎 賢治	平和構築、紛争予防	526	kenji-isezaki@tufs.ac.jp
内山 直子	開発経済学、ラテンアメリカ経済	731	n.uchiyama@tufs.ac.jp
岡田 昭人	比較・国際教育学、教育協力論、異文化コミュニケーション	532	aokada@tufs.ac.jp
蒲生 慶一	マクロ経済学、国際経済学、先進国経済論	557	gamou@tufs.ac.jp
日下部 尚徳	国際協力論、社会開発論、バングラデシュ地域研究	506C	kusakabe@tufs.ac.jp
篠田 英朗	平和構築、紛争解決、国際秩序論、国際協力、国際組織	505	hshinoda@tufs.ac.jp
鈴木 美弥子	民法、消費者法、環境法	555	mysuzuki@tufs.ac.jp
田島 陽一	国際経済学、開発経済学、メキシコ経済論	556	tajima@tufs.ac.jp
出町 一恵	国際金融論、開発経済論	830C	k.demachi@tufs.ac.jp
中山 裕美	国際政治学、国際協調、地域統合、移民・難民問題	830A	yumi-nakayama@tufs.ac.jp
松隈 潤	国際法、国際組織法、国際人権法、国際経済法	550	jmatsukuma@tufs.ac.jp
松永 泰行	比較政治学、政治社会学（争議政治）、国際関係論	524	matsunaga@tufs.ac.jp
若松 邦弘	比較政治（西欧）、社会争点（福祉、移民、環境ほか）の政治	661	kwakamat@tufs.ac.jp